

Banco Sumitomo Mitsui Brasileiro S.A. DAILY MARKET REPORT



Treasury Department

マーケットサマリー

昨日のドルレアルスポット相場はウクライナの不安定な情勢がレアル売りを誘う展開となりました。朝方は、ウクライナが変動相場制に移行し通貨防衛を放棄したと看做されたことから新興国への懸念が広がりレアルも売り優勢となったため前日比レアル安の2.34台後半から始まりました。また、米新築住宅販売が市場予想を上回ったことからドル高となり2.35台での取引が続きました。その後も先週分の為替フロー統計が資金流出を記録したことからレアル売り地合いは終日続き、結局2.35近辺で引けています。

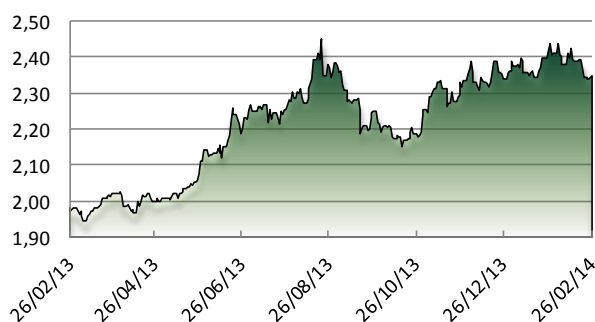
マーケット引け後にCOPOMは25bpsの利上げを全会一致で決定し、SELICは10.75%となりました。声明文の文脈は前回とほぼ同じで、「昨年4月から始まった金利調節プロセスを継続し、全会一致で政策金利を0.25%引き上げ10.75%とすることを決定した。」となっており、前回との違いは「現時点では」という文言が削除された点でした。政府の歳出削減方針を受けて市場予想通り利上げ幅を縮小し景気への配慮を見せたものの、「現時点では」という一時的な印象を排除して金利調節プロセスが継続していることを明示しているため、次回も25bpsの利上げとなる可能性が高いでしょう。歳出削減自体も甘い成長率予測によって歳入が計画倒れになれば選挙を控えて頓挫することは十分考えられるため、利上げを終了を示唆するには時期尚早と考えたと思われます。但し、利上げ継続でもインフレ目標中央値の4.5%達成には程遠いため、5%台維持の現実的妥協を中銀は今後も強いられるでしょう。

マーケットデータ

Indicator	Unit	2月25日	2月26日	前日比	1月24日	1ヶ月前比
BRL / JPY Spot	JPY	43,67	43,55	-0,12	42,68	+0,87
USD / BRL Spot	BRL	2,3412	2,3500	+0,0088	2,3975	-0,0475
USD / JPY Spot	JPY	102,24	102,38	+0,14	102,31	+0,07
Bovespa (ブラジル株価指数)	Index	46.716	46.599	-117	47.787	-1.188
CDS Brazil 5yrs (クレジットデフォルトスワップ)	bps	170,7	176,0	+5,3	211,0	-35,0
Brazil 5yrs Gov. Bond	%	12,39	12,39	+0,00	12,94	-0,55
DI Future Jan15 (金利先物)	%	11,02	11,02	+0,00	11,13	-0,11
3 Months US Dollar Libor	%	0,234	0,233	-0,001	0,235	-0,002
CRB Index (国際商品指数)	Index	301,6	301,6	+0,0	282,5	+19,1

これらのレートは各市場における終了時点の気配値です。実際のレート提示は弊社担当者までお問い合わせ下さい。

ドルレアルスポットチャート



レアル円スポットチャート

